

## 11 月理事会

2025 年 11 月 27 日（木）19:00～

ZOOM 参加者 13 名

### 全国登山研究集会の概要報告

11/15～16 新大阪 YH で実施 泊り 67 名、日帰り約 50 名と大盛況。

大阪労山から 8 名が運営を担った。基調報告、3 つの分科会を実施。

(1) 基調報告は大阪労山ニュース P8 を参照

(2) 第一分科会（筋トレ）高橋理事長報告

・京都伏見山の会では、毎週大文字山（標高 465m）で歩く標高 500m/週を 2000 m/月続けることで会の活性化とリーダー育成が計られている。

・転倒防止研究会からの喚起で積雪期の下山中の転倒転落は冬山より危険

・兵庫県連盟の筋力トレーニングの効果報告

(3) 第二分科会（組織と教育）高桑報告

・栃木県野木山想会では会員募集の工夫として山のスマホアプリを活用して種々のアプリの使用方法などを適時山行中に使用して、山に興味を持ってもらう工夫が好評で会員拡大につながっている。

・大阪労山として大見事務局長より連盟各部会の取組みを通じて、連盟全体の横のつながりを活性化する試みで大阪労山を活性していく報告をした。

(4) 第三分科会（自然保護）沢村自然保護部長報告

・大阪労山は大峰山の立ち枯れ復活、里山調査、友ヶ島ゴミ調査の報告、

・奈良県の産廃問題、北陸新幹線京都延伸問題等々の報告。

### 事務局（大見）

(1) 総会準備

3 月の総会に向け、総会資料、各部議案書第一次案を年内に提出。

代議員の登録は昨年同様のフォームで行う。

(2) 労山カレンダー55 部 理事会後に配布

(3) 救助隊の活動について、近く会計 人事について協議予定

### 組織部（下窪）

(1) 2026 年度連盟費算出用各会組織数報告の状況報告で 11/30 が締切で 18 会が提出済。

### 自然保護委員会（澤村）

(1) 憲章の実践

- ・鳥獣・ライチョウ目撃レポート ライチョウ 11 件（昨年 29 件）
- ・倒木対策 5 件（同 9 件）
- ・定点写真観察活動 1 件（同 1 件）

(2) 山門水源の森観察 （八尾・中路さん担当）

11/1 実施 15 名参加。来年は 4 月で検討

(3) 二上山の産廃問題

奈良労山より情報あり。 12/7 シンポジウム予定。

(4) 友ヶ島 ごみ調査と観光

10/24 実施 10 名参加 来年は 4 月実施で検討中

**女性委員会**（榎本）

(1) 11 月例会はナン

(2) 交流会に向け、乾燥野菜の試食会を実施した

**子どもの冒険学校**（大見）

(1) 11/8 ハイキング明日香村で実施。子供 8 名、大人 9 名、スタッフ 7 名

(2) 1/25 雪遊び 比良イン谷 現在子供 13 人応募あり 20 人定員で募集中

**海外委員会**（大見）

(1) 次回 1 月に予定 内容未定（報告の予定）

(2) 今年度の集計中。来月報告予定

**平和と登山委員会**（大西）

(1) 11/3 輝け憲法！平和といのちと人権をおおさか総がかり集会

大阪市北区中之島公園 2,500 人がポテッカーを掲げてアピールした。

大阪労山からは 4 名（泉州、ぽっぽ、くまごろう）が参加

**障登 P T**（山下さん不在で報告なし）

**教育遭難対策部**（大見）

(1) 安全対策基金の来年度申請分について

今年も 15 万円を申請する。分配はハイキングセミナー・障登 P T は 2 万円、岩登り講習会は 1 万円、山の教室は 5 万円、初級登山学校・初級冬山登山学校は 1.5 万円、中級登山学校は 2 万円 で全国連盟へ申請する

(2) 冬山連絡会（担当：富永さん）12/25 理事会終了後に 45 分くらい

(3) 事故統計

集計遅れている。事故対策へ進められない。

(4) 教育遭難対策部会計としてのビーコン使用料は初級冬山の会計に移管して、  
新規ビーコン購入資金としたい。**理事会承認案件**

(5) 転倒防止研究会より前方転倒事故防止用の全身ハーネス購入について、  
**理事会承認案件**

### **ダイトレ実行委員会**

当日天候悪い中キャンセルは少なかった。430 人（内労山は 70 名）、1 月に報告会をする。

### **セミナー（中尾）**

11/26 開講      2 名は夏山セミナーより受講

### **次回理事会**

12 月 25 日    理事会は 30 分で冬山連絡会を 1 時間、その後に忘年会を予定  
(文責)高桑

1985 年 雑木の会 ドルジェラクパ峰(ジュガルヒマール山群)6966m  
登頂から 40 年を記念してネパールの山を訪ねた



### I.10/1～10/7 エベレスト街道

行程日数：7 日 行動時間：45 時間 歩行距離：60 km

カトマンズ(トリブバン空港)⇒飛行機⇒ルクラ(Lukla)2840m

ルクラ(Lukla)2840m→ディンボチェ(Dungboche)4410m～トクラ  
(Thokla)4620m～馬～ペリチェ(Pheriche)4240m

ペリチェ(Pheriche)⇒ヘリコプター⇒カトマンズ

### II.10/12～10/17 ランタン溪谷

行程日数：6 日 行動時間：58 時間 歩行距離：62 km

カトマンズ⇒車⇒シャブルベンシ(Syabrubesi)1503m～キャンジン

(kyanjin)3830m～キャンジンリ(Kyanjin Ri)4400m→シャブルベンシ

(Syabrubesi)⇒車⇒カトマンズ

### III.10/19～10/21 ポカラ観光

カトマンズ⇄ポカラ(往復バス)

ポカラではフェア湖(Phewa Lake)周辺を観光、最後にはアンナプルナ山群の圧巻をより近くからと、サランコット(Sarancot)まで足を延ばし、夕陽に映えるアンナプルナ山群を飽かず眺めた

トレッキング初日から雨に見舞われ、その天候不順はネパール全土に洪水や土砂被害をもたらし、エベレスト方面でも季節外れの大雪による遭難者が続出したとはカトマンズに戻ってから知った

エベレスト街道トクラ(Thokla:4620m)において、高山病発症に対応を迫られるも高度を下げ治療対応の結果回復、このアクシデント、ハプニングでは言葉も不自由な異国の地で関係皆様の優しさには心から感謝するばかりでした

天候について振り返れば、10月初旬に連続して雨と雪に見舞われ、驚いた事にディンボチェ(Dingboche)4410mでは時ならぬ大雪に雪下ろしに奮闘する各ロッジには数日間足止めされたトレッカー達で溢れていた。その荒天により、中国を含むエベレスト周辺は大雪による遭難や行動不能者が多発していたことはカトマンズに戻ってから報道で知った

ランタン溪谷

ランタンリルン、ガンチェンポを背に大きく開けた谷「世界一美しい谷の一つ」と感嘆したティルマンもこの変貌には驚くに違い無かろう

自然石と竹で作った素朴な住まいは人口加工の石作りに、灯りはランプから電気に変わり、村を繋げるように並ぶ電柱と電線に目を見張る。旅のトレッカーが自然保護、破壊等と嘆くのは慎もう、この恩恵に預かるのは他ならぬこの地に生きる人々なのだから、一方ではエベレスト街道の電線地下埋設等景観保護方法もあるのだがなど・・・  
これさえも一トレッカーの安直な思いかも知れない



地震により、人々の支えとされてきたゴンパも家々も人々も、村の多くが埋め尽くされたという地変を乗り越え、かつて想像もし得なかった人工設備、地震による慰霊碑、建替えられたストーパー、ゴンパ、水力で常時回るようになったマニ車、氷河湖から水を引き込んだ発電所、平屋が多層建てとなった新しいロッジやホテルに電気が灯り、あのキャンジンゴンパもチーズ小屋も新しく大きな建物に変わり、氷河湖からは発電所に落ちる水管が走る・・・

それでもあの懐かしいランタンの谷と山々が目の前にありながら、変貌の驚きとがないまぜとなりながらもなぜか愛おしさを禁じ得ない  
キャンジンリの眼前には、明けたばかりのランタンリルン、ヤラピーク、ガンチェンボが、そしてその奥には我らがドルジェラクバ峰が佇んでいるはず、残念ながらここからは見えない、それでも遠き日が蘇るような感に浸ることができた

ふり返ればランタンリルン、ガンチェンボが佇むランタンの谷を少しもの悲しい思いで降ってきた



雑木の会 佐藤 俊明

## 滝谷花崗岩で包丁を研いでみた

OWCC 中川和道 20251218

今年 2025 のお盆山行で登った滝谷末端は、珍しく雪が皆無で、花崗岩が真白に露出していた。写真は雄滝から滝谷出合まで下降していく松田明博。谷底が見事なまでに白く輝き、まるで雪のようだった。ここまで滝谷の底があらわに見えるのは珍しい。

帰宅後、原山智氏の本[1]を読み、動画[2]も見て調べた。この花崗岩は「滝谷花崗岩」だという。涸沢の溶結凝灰岩が黒っぽいのは見事に対照的だ。さっそく 55 年前の学生時代に拾った滝谷花崗岩を押し入れから引っ張り出して眺めた。中川は、この岩がなぜこんなに美しいのかと、当時は、不思議に思った。その岩が、滝谷花崗岩と呼ばれることを 75 才にして初めて知った。

懐かしさをかみしめながら、ふと思いついて、滝谷花崗岩で包丁を研いでみた。果物用の包丁だが、うまく研げてなかなかの切れ味だ。豊作の柿がうまかった。

原山氏[1]によれば、この花崗岩が生成したのは約 167 万年前。世界的に最も若い花崗岩だという。槍穂高一带にあった火山が陥没してカルデラとなった後、西側が激しく上昇して地層が傾いた。北穂高岳からキレット越しに南岳方面を見ると、西が高く東が低い、あの独特の縞模様がその証拠だ。槍穂高は、圧倒的な力で西側が持ち上げられ、この時、地中深くにあったカルデラの底の花崗岩が飛騨側の地表へと顔を出した。図 1 に見える真っ白い花崗岩がそれだ。大地が傾かなかっただけで、我々クライマーが滝谷花崗岩に出会うことはなかった。

原山氏は、地質調査所にご勤務の頃、滝谷を登って槍穂高の成り立ちを調べたのだという。文献[1]には滝谷の雄滝の他にもナメリ滝なども登場し、岩石組成の詳細が写真とともに記述される。その調査力の礎となった強い山男「原山智氏」の素顔が前面に見える文献だ。クライマーの登攀記録も面白いが、地質学研究者が未知に挑むこういう文献も、何か、共通の指向性を感じて面白い。

いい岩に昔と今また出会い、いい本に出会った。願いがかなうなら、著者にお会いしたいものだとつくづく思う。大阪労山ニュース 2025 年 9 月号に書いたとおり、今年 2025 年の夏は集中豪雨直後で滝谷遡行は完遂できなかった。来年こそは、原山氏のこの本を片手に、滝谷末端から遡行し第 4 尾根へのクライミングに挑みたい。文献 2 の動画も必見だ。

[文献 1]原山智・山本明『「槍・穂高」名峰誕生のミステリー -地質探偵ハラヤマ出動-』、ヤマケイ文庫、2014 年 3 月。

[文献 2]原山智『超火山だった槍・穂高』<https://www.youtube.com/watch?v=OXbvX4MCxXQ>



図 1. 滝谷花崗岩の素顔がまばゆい滝谷出合を下る。クライマーは松田明博。



▲ 主催：兵庫県勤労者山岳連盟 安全対策委員会・ハイキング教育部

いつまでも元気に楽しく登山を続けるために

# 歩き方の講習会



講師：安藤 真由子 氏

（体育学博士・登山ガイド・健康運動指導士）

【開催要項】裏面にも講習会の目的・要領を記載しています

以下の2通りのコースからご希望をお選びください

- ① 1日コース：「講演」のみを受講（受講料 1,000 円）
- ② 2日コース：「講演」と「実技」を受講（受講料 3,000 円）

## 講演

- ・ 日時：2026 年 2 月 7 日（土），受付 13:00～，開始 13:30，終了 15:30
- ・ 会場：県立 のじぎく会館・大ホール
- ・ 定員：100 名



◀「1 日コース」

## 実技（詳細は参加者に後日ご連絡）

- ・ 日時：2026 年 2 月 8 日（日），集合 9:00，解散は掬星台で午後
- ・ 集合場所：阪急 六甲駅 北口 1F
- ・ 定員：40 名
- ・ 登山ルート：阪急 六甲駅 ～ 山寺尾根 ～ 掬星台



◀「2 日コース」

【申し込み方法】＊締切：1 月 31 日（但し 定員に達したら締切り）

①「1 日コース」、②「2 日コース」のいずれかの希望に応じて、右上の QR コードをスマートフォンのカメラで読み取り、フォームに必要事項を記入して送信

＊2 月 1 日以降のキャンセルは受講料と同額を申し受けます

＊申し込み受付後、1 週間以内に実行委員から「受付完了」の通知メールをお送りします

＊「受付完了」の通知メールが届かないときやご不明な点は以下のアドレスに問い合わせください（お問合せ先）[hwaf\\_anzen\\_req@googlegroups.com](mailto:hwaf_anzen_req@googlegroups.com)



## 【講習会の目的 ～安藤先生からのメッセージ～】

いつまでも元気に楽しく登山を続けるために必要なことは、

- ① 怪我をしないこと、
- ② 体力の維持・増進に努めること、
- ③ 自分に合った登山計画と実行、です。



今回の講習ではご自身の体力チェックとともに、普段からできる登山のためのトレーニングや登山中のペース配分や歩き方についてお伝えいたします。また、登り下りの歩き方講習も行います。この講習を通じて、皆様の今後の登山がより楽しく続けられるきっかけになると嬉しく思います。

## 【実技の目的と要領】 \* 前回講師の山本正嘉先生のご説明より引用

多くの山岳会・山の会では高齢化が進んでいます。年をとれば体力が低下します。その対策として、体力のトレーニングはもちろん必要です。しかしそれとあわせて、山で上手に歩くことも重要です。現状を見ると、**年齢や体力に不相応な速すぎるペースで歩いて、起こさなくても済む疲労に悩まされている人がたくさんいる**からです。

そこで今回は**上り坂をゆっくり上ることで、高齢者でも疲労せずに歩ける、安全で安心な登高ペースの体験実習**を行います。これは1時間当たりで垂直方向に300m～350m くらい上る速さです。この速さを自分の感覚だけで保つのは、ベテランでもかなり難しいので、登高速度を表示してくれる登山用の時計(セイコーアルピニスト)を使ってペースを調整し、その速さを体験します。



### 当日の予定

9:00 阪急六甲駅に集合後、歩き始める

9:30 山寺尾根登山口(200m)で出発

**第1 区間 (普段のペース)** : 登山口 (200m) から 300m 附近まで

**第2 区間 (安全ペース)** : 300m 附近から 400m まで 登高速度計を見ながら

**第3 区間 (安全ペース→やや速いペース→安全ペース)** : 400m から 600m まで  
登高速度計を見ながらペースを変えて上り、きつさの変化を体感する

**第4 区間 (まとめ)** : 600m から 掬星台まで 学んだ安全ペースで上れるかを試す

12:30 頃～ 掬星台でまとめのミーティング後、解散

# 大阪労山「山の教室」

講座の種類に関して、事務所だけの座学、リモートのみ、事務所とリモート併用、実技の4種類になりますのでご注意ください。受講履歴は事務局で管理されていますので、各会の中で受講履歴の把握等が必要であれば下記アドレスに遠慮なくお申し付けください。  
kyouikusoutai@osaka-rousan.com

## ◆1月の講座

### ➤ 冬山の気象 座学

日時：1/14（水）19:30～21:00

場所：連盟事務所

費用：500 円

申込：https://ws.formzu.net/dist/S31216695/（12 月から）



冬の雪山を安全かつ楽しいものにする重要な要素のひとつとして、気象条件があります。天気図などの一般に入手できる気象情報から、雪山での気象条件を事前に予測するための基礎的な知識を解説します。

### ➤ 山の病気予防 座学

日時：1/20（火）19:30～21:00

場所：連盟事務所

費用：500 円

申込：https://ws.formzu.net/dist/S17893713/（12 月から）



冬の雪山を安全かつ楽しいものにする重要な要素のひとつとして、気象条件があります。天気図などの一般に入手できる気象情報から、雪山での気象条件を事前に予測するための基礎的な知識を解説します。

## 20 原発賠償関西訴訟の近況 ピトンの会 菅野昭雄

日頃裁判へのご支援ありがとうございます。原発事故による被ばくから逃れようと関西にきた避難者が起こした原発賠償関西訴訟も、9月11日に2年半にわたる原告本人尋問がすべて終了して12月24日に結審を迎えます。地方裁判所での最後尾となった私たち原告団は、事故による被害の実情と、司法に対しては公正な審判を行うようにと一人一人の原告が裁判官に訴えました。

結審では、2023年6月に最高裁判所が「対策をしても原発事故を防ぐことはできなかったから国に責任はない」と対策をしなかった東電に対しての国の権限不行使についての判断をしない判決を行い、以降、地方裁判所、高等裁判所でも国の責任を認めない判決が今日まで続いている現状を変えるべく、弁護団が最終弁論を行います。

判決は現時点では来夏以降と思われます。今後は、「公正な判決を求める」署名と街頭宣伝活動等を行いますので、引き続きご支援をお願いいたします。

## 国民平和行進、2026 年の幹線コース日程の提起

大阪原水協より国民平和行進の総括会議において、来年の幹線コースの日程等について次のように連絡がありました。国民平和行進におきまして、来年は基本的に午前中にしか行進しないことを前提で、来年の幹線コースの日程を提起しました。

### 【来年の平和行進の日程について】 基本的な日程等 案

6月24日・25日	阪南	6月26日・27日	泉北・堺
6月28日・29日	南河内	6月30日	中河内 引継ぎ
7月1日・2日	大阪市内	7月3日・4日	北河内
7月5日・6日	北摂	7月7日	豊能 引継ぎ

1時間半以上歩くところは、1回休憩をいれる。

\*\*\*\*\*平和と登山の頁+宮津城下町便りを（大西清見）\*\*\*\*\*



宮津市役所の西側に立つ白亜の美しい建物は、1896年（明治29）に建てられた「カトリック宮津教会 聖ヨハネ天主堂」。当時、パリ外国宣教会によりフランスから日本に派遣されたルイ・ルラブ神父自ら設計し、地元の旧家・田井氏が土地を寄付して建てられた、現在もミサが行われている教会としては一番古い建物です。また和洋折衷の建物で会衆席が畳敷きとなっていることもユニークです。

## OWAF メーリングリストのご案内

大阪労山の公式のメーリングリスト（以下、OWAF-ML）のご紹介です。OWAF-MLには連盟行事、伝達事項の案内や、各種登山学校や訓練、講習会の案内などが流れています。その他各登山道の状況、アルプスの山小屋情報、各会入山情報など、相互の情報交換の場として利用されています。大阪府連の会員であればだれでも登録できますので是非ご加入ください。

- **登録方法** 公式な ML なので、登録は原則として各会でまとめていただいております。各会の登録担当者までご連絡をお願いします。担当が分からない場合は直接登録いただいても構いません。

- **各会登録担当者様へ**

各会、代表・事務局長・理事の方は登録必須とさせていただきます。登録担当者を含めて各役職に変更があった場合にもご連絡をお願いいたします。また退会された会員の方のアドレスもご連絡をお願いいたします。



- **登録申請フォーム** <https://ws.formzu.net/dist/S91846322/>

登録申請フォーム

- **編集後記 休載**

\*\*\*\*\*

今月も各会より会報を送っていただきました。

きたろうニュース（きたろうHC）、にしよど（西淀労山）、ぼんぼん山（高槻）、こもれび通信（（山の会こもれび）、福岡県連通信、労山おかやま、やまと友の会、京都労山、噴煙（鹿児島労山）、兵庫労山会報、県連ニュース（和歌山労山）、八尾山の会

発行日 2025 年（令和 7 年）12 月 22 日 No.478（2026 年 1 月号）

編集・発行 笠井、園、高橋、中井、中尾、大西